

---

# 大人のための異文童話集19 マッチ売りの少女

天野久遠

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

大人のための異文童話集19 マッチ売りの少女

### 【NNコード】

N65410

### 【作者名】

天野久遠

### 【あらすじ】

そして少女は恋をした。

ほのかな温もりしか持てないマッチに恋をした。  
温かなマッチの火がとても好きだった。

寒いのはイヤだからと、暖かさを求めてさまよい歩いた。

ときには学校、ときには教会。  
歩き疲れてこころも冷える。

ほんの少しの暖かさにこころが揺れて、  
とどまる場所と身を置いた。

けれどもそれは幻想の世界。

気付いてみれば寒さは防げずまた歩く。

少しの暖かさでいいと繰り返すつむぎ、温もりなんて夢だと思つ。

結局冷えたその身の置き場。

幻想であろうとなからうと、そこしかないと諦めた時・・・

マッチが現われ火を灯す。

1本、また1本とマッチをこすり、  
灯すその火の暖かさ。

いつしか少女は寒さを忘れてしまい、暖かさに安堵を憶える。

そして少女は恋をした。

ほのかな温もりしか持てないマッチに・・・恋をした。

温かなマッチの火がとても好きだった。

少女はマッチを火をつける。

マッチの数、その限りがあることに気付かず、  
こころが寒くなるとマッチに火をつけた。

あるとき、ふと、少女は気付いた。

残り少ないマッチの数に。

使えばなくなるマッチの数に。

1本、火を灯せばマッチはなくなり、  
また1本・・・

火を灯せばその身の置き場が遠ざかる。

それでも少女はマッチに火を灯す。

少ないマッチ数えると、もう、涙あふれて止まらない。

もうすぐで、愛しいマッチともお別れです。

箱の中には最後のマッチ。

これで・・・

寂しいこの、身体と心ともお別れです。

雪の中、少女はマッチと共に夢の中へと旅立つのです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6541o/>

---

大人のための異文童話集19 マッチ売りの少女

2010年11月2日02時25分発行